

鹿児島県

鹿児島地域振興局農林水産部 林務水産課 林務係  
塩山 英男

鹿児島県南薩流域における原木流通効率化への取組

1 テーマの趣旨・目的

鹿児島県南薩流域では、丸太の海外輸出やバイオマス発電施設の稼働等により、利用期に達している森林の主伐が進み、素材生産活動が活発化している。

さらに、昨年度、鹿児島県の中央北端に位置する湧水町に大型木材加工施設が稼働するなど新たな木材需要も創出されていることから、その需要に対する原木の安定供給体制の構築を図るとともに、効率的な原木輸送による木材流通の合理化を図ることが必要となっている。

そこで、南薩流域内の原木流通の実態把握を行うとともに、流通コストの低減に向けた提案や流域内の林業事業者で構成される協議会の設立など、原木流通効率化への取り組みを実施した。

南薩流域における木材需要の動き



2 現状及びこれまでの取組の成果・課題

(1) 取組内容

- 原木流通コストの低減方法の洗い出し  
原木流通の実態を検証するため、「原木流通実態調査」を実施し、南薩流域内での原木流通に関する実態把握を行った。

原木流通実態調査の実施

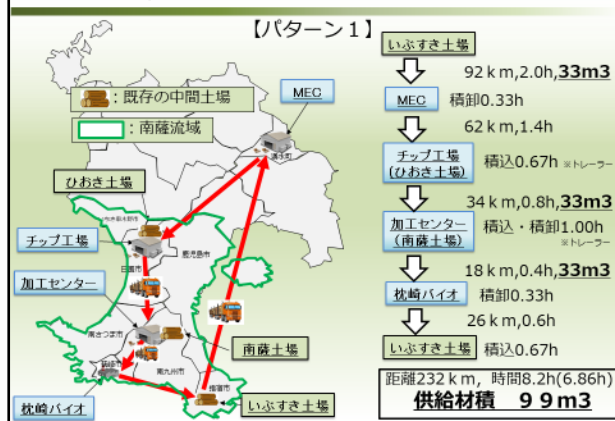
- 1 調査目的  
南薩流域における原木流通に係る製材工場等への直送等の実態と課題等について把握することを目的に実施
- 2 調査対象  
南薩流域の森林組合及び素材生産を営む林業事業者
- 3 回収結果  
12事業者から回答



調査項目についての協議

- 原木流通コストの低減に向けた提案  
原木流通実態調査の結果から、南薩流域内における効率的な輸送パターンなど原木流通コストの低減に向けた提案を行った。

原木流通コストの低減に向けた提案



- 協議会設立に向けた調整及び合意形成  
原木流通の効率化を図ることなどを背景として、流域内の林業事業者で構成される協議会の設立に向け、関係者への調整及び合意形成を図った。

### 協議会設立に向けた調整及び合意形成



流域内の主な林業事業者に対して協議会の設立の背景などの説明，協議会への参加打診

### 協議会設立に向けた調整及び合意形成



#### 主な林業事業者との全体協議

- ・ 協議会の名称や目的などについての協議

#### (2) 成果

以上の取組の成果として，林業事業者の連携強化が図られ，南薩流域内の14林業事業者で構成される「南薩流域原木供給協議会」が設立



南薩流域原木供給協議会の構成員

#### (3) 課題

- 「南薩流域原木供給協議会」の実践的取組の推進と効果の検証

- 原木取扱量の増大と協議会への参画事業者の拡大

#### 3 今後取組むべき内容

##### (1) 具体的手法又は検討方向

- 「南薩流域原木供給協議会」の実践的取組の推進と効果の検証
  - ・ 大口需要に即座に対応できるよう，出荷先に対応した採材等の技術研修の実施など実践的な取組を推進
  - ・ 定期的に流通コストの分析を行うとともに，更なる効率化に向けた輸送パターンの検討
- 原木取扱量の増大と協議会への参画事業者の拡大
  - ・ 需要先の多角化や取扱量の増大を図るとともに，新たな林業事業者の参画を奨励

##### (2) 理由

新たな需要に対応した原木の供給体制を構築するためには，採材等の技術研修を行い原木の付加価値を高める技術の習得を図る必要がある。

また，今後，木材生産活動の活発化が想定されることから，流域内の林業事業者などの関係者が一丸となって，原木の安定供給体制の構築や原木流通の効率化に努める必要がある。

##### (3) 期待する成果

原木の安定供給体制の構築や原木流通の効率化により，生産コストの低減が図られ，そのコスト削減分を森林所有者へ還元することで，再造林の推進に寄与することが期待でき，また，森林資源の循環利用である「伐って→使って→植えて→育てる」が促進される。